

# 西原の方言調査

## 掛保久編

と唱えるそうです。  
 なんだか親の愛情  
 があふれているこ  
 とばですよ。ね。  
 城間盛徳さんは

「むかしですね、

マブヤーマブヤー ウー  
 ティクヨーマブヤー シ  
 シントーフカマスクトウ  
 (靈魂靈魂 ててきてお  
 いでよ靈魂 肉も豆腐も食  
 べさせてあげるから)

たマブヤークミ(靈魂籠)の  
 ことばです。

みなさんこの唱えことば、  
 なんだか知っていますか?  
 掛保久での方言調査で新  
 垣孫栄さんから教えてもらっ

昔、子どもたちが原因不明  
 の食欲不振や元気がなくなっ  
 たとき、驚いたため靈魂が落  
 ちたからだと信じられていま  
 した。そのときにおかあさん  
 やおばあさんたちがヒッカケ  
 ヤー、ヒッカケヤー(引っか  
 ける手振り)をしながら冒頭  
 のことばを唱えるそうです。

うちの親父はハブがいたら歌  
 をよんでこのハブを止めよっ  
 たそうです。それでだらして  
 頭をふんでひっぱって捨てよっ  
 たそうですよ。この文句を私  
 たちに教えるけれども、覚え  
 てないんです。ハマ又なんと  
 かいよったけれどね、一継  
 ぎ(息継ぎしないで)でいわ  
 んといけなかったらしいです  
 よ。」という話をしていまし

また子どもを  
 連れて夜道を行  
 くときには、悪  
 いものから守る  
 意味で子どもの  
 ひたいに中指で  
 つばをぬり、  
 アンマークー  
 トウー ターガ  
 ンー ジャビラ  
 ン  
 (おかあさん  
 のほかに だれ  
 も見ていないよ)

もうおひとりの城間精徳さ  
 んは、雷が鳴ったら唱えるこ  
 とば(クワーギヌマータクワ  
 ギヌマータ)や地震がきたと  
 きに唱えることば(チョージ  
 カ チョージカ)など町内に  
 広く伝わることも残さない  
 といけないね、とおっしゃっ  
 ていました。

また子どもを  
 連れて夜道を行  
 くときには、悪  
 いものから守る  
 意味で子どもの  
 ひたいに中指で  
 つばをぬり、  
 アンマークー  
 トウー ターガ  
 ンー ジャビラ  
 ン  
 (おかあさん  
 のほかに だれ  
 も見ていないよ)

精徳さんは琉歌をつくる  
 ことが得意で、ジンカキギ  
 ー

(このあと五番まで・

城間精徳作)

錢掛ぬ花

一、朝夕句増する

錢掛ぬ花に

飛る綾蝶る

寄らて遊ぶ

掛保久の方言調査は新垣  
 孫栄さん、城間盛徳さん、  
 城間精徳さんの三名の方か  
 らお話しをうかがいました。  
 孫栄さん宅で奥さんのフミ  
 さんも交えての楽しい聞き  
 取り調査でした。今回紹介  
 した唱えことばなどは、今  
 ではあまり耳にしなくなっ  
 ており、若い(?)わたし  
 にとつて調査は感動の連続  
 なのです。

\*唱えことばは「西原町史」

第4巻・資料編3 西原の

民俗」にもいくつか紹介さ

れているのでみなさんも読

んでみてくださいね。



△孫栄さん宅での聞き取りのようす